

海王丸で結婚式

「幸せのベル」響く



幸せのベルを鳴らす寺田夫妻

—射水市の海王丸パーク

われ、パーク内に鐘の音が鳴り響く中、夫婦が愛を誓った。

式を挙げたのは寺田羊二さん(50)と重美さん(54) 兵庫県洲本市で、重美さんの父の網島重胤さん(87)が海王丸の甲板長を務めていた縁で実現した。

2人は誓いの言葉を述べてベルを鳴らし、パークを管理する伏木富山港・海王丸財団の蟹谷康弘事務局長から結婚証明書を受け取った。羊二さんは「立山が見える素晴らしい景色の中で

式ができた」と話し、重美さんは「父にとって懐かしい船で式を挙げられたのはうれしい」と語った。

海王丸パークは2013年1月に「恋人の聖地」に選定された。「幸せのベル」は元々、乗組員に時間を伝えるためのもので、海王丸の進水日が1930年2月14日とバレンタインデーにあたることから、愛を誓う鐘として鳴らす利用者が多く、財団が結婚式を初めて企画した。応募があれば、

今後も継続する。

射水市の海王丸パークで

に設置された「幸せのベル」を鳴らす結婚式が行

11日、帆船海王丸の船上

る

る